

平成 2 1 年度病害虫発生予察指導情報

対象病害虫：果樹全般・カメムシ類（クサギカメムシ）(No. 1 1)

平成 2 1 年 1 2 月 2 8 日

鳥取県病害虫防除所

1 . 情報の内容

- (1) 簡易小屋トラップ調査によると、クサギカメムシの越冬成虫数は 1 トラップあたり 8 . 4 頭（平年： 8 . 2 頭）で、ほぼ平年並であった。
- (2) 調査地点別では、倉吉市小田は過去 1 0 年間で最も高い越冬密度となっており、高かった平成 1 7 年（ 3 5 頭）と同程度である。その他の地点は平年並～やや少ない密度であるが、高密度の地点があることから、県下では越冬密度が高い地域が散在するものと見込まれる。

表 1 簡易小屋トラップ調査によるクサギカメムシの越冬量*

調査地点	本 年	前 年	平 年**
八頭町 花原	2	5	9.3
倉吉市 小田	39	3	13.1
湯梨浜町 原	0	0	1.2
三朝町 上西谷	1	7	17.1
北栄町 由良宿	0	0	0.5
平 均	8.4	3.0	8.2

*表中の数字は、 1 トラップあたりの成虫数を示す。

**平年は H 1 1 ~ 2 0 年の平均値。

2 . 防除上注意すべき事項

- (1) クサギカメムシは、果樹園内の作業小屋などで越冬しているため、休眠期の防除対策として、 2 月までに小屋を清掃し、越冬成虫を必ず捕殺しておく。
- (2) 越冬密度が高い地域が散在すると見込まれることから、 4 月以降、定期的にはほ場を見回るなどして、春先の発生程度の把握に努める。